※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3015

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	（学）溶接技術	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・安全作業を徹底し主体的に学習に取り組む。
・実習を通して溶接技術を理解し，溶接を安全・適切に活用できる能力を身に付ける。
・いろいろな溶接法を適切に選択できる能力を身に付ける。
・ガス溶接と切断の原理，特徴，留意事項を把握し，安全にガス溶接と切断を適切に活用できる能力を身に付ける。
・アーク溶接の原理，特徴，留意事項を理解し，安全にアーク溶接を適切に活用できる能力を身に付ける。

２　学習の到達目標

１　溶接技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、安全に作業できる。
２　溶接技術を自然法則と関連付けて考察し，科学的，工学的思考力を養う。
３　溶接技術を総合技術として学び，実際に活用できる能力と態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ガス溶接装置，溶接棒の働きについて理解している。 ・ガス溶接と切断の留意事項を把握し，適切に活用する能力を身に付けている。 ・アーク溶接をものづくりの中で，用途に合った活用ができるように理解している。	・ガス溶接，ガス切断について，活用法を説明することができる。 ・アーク溶接，アーク切断について，活用法を説明することができる。 ・アーク溶接が空気を遮へいして行われる理由を説明することができる。	・ガス溶接とガス切断の原理に関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。 ・アーク溶接の特徴を，その観察によって理解しようとしている。 ・各種のアーク溶接の原理やくふうに関心を持ち，意欲的に学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	1 溶接と接合	いろいろな溶接法を分類して系統的に把握させ，適切な溶接法を選択できる能力を身に付けさせる。	a:機械的接合法と比べた場合の溶接法の利点を理解している。 b:数多くある各種溶接法を把握し，その原理や熱源の違いにより系統的に分類することができる。 ｃ：作業安全について理解し、作業できる。	実習前の学習	実習を通じての技能・知識	授業への取り組み姿勢
	2 ガス溶接とガス切断	ガス溶接と切断の原理，特徴，留意事項を把握させ，ガス溶接と切断について実習を通じて適切に活用できる能力を身に付けさせる。	a:ガス溶接装置，溶接棒，フラックスの構成や働きについて理解している。 b:ガス溶接と切断の原理，特徴，留意事項を把握し，適切に活用する能ｃ：作業安全について理解し、作業できる。力を身に付けている。	実習前の学習	実習を通じての技能・知識	授業への取り組み姿勢
	3 アーク溶接	各種のアーク溶接に共通な原理，特徴，留意事項を理解させ，アーク溶接について実習を通じて適切に活用できる能力を身に付けさせる。	a:アーク溶接の種類や性質などを把握し，活用ができるように理解している。 ｂ：作業安全について理解し、作業できる。	実習前の学習	実習を通じての技能・知識	授業への取り組み姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度